

交通事故発生状況（令和8年6月末現在）

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区 分	令 和 8 年	令 和 7 年	増 減 数	増 減 率
全 国	1,162	1,161	+ 1	+ 0.1%
管 区 計	151	128	+ 23	+ 18.0%
富 山	14	10	+ 4	+ 40.0%
石 川	10	10	0	0%
福 井	9	12	- 3	- 25.0%
岐 阜	17	24	- 7	- 29.2%
愛 知	67	50	+ 17	+ 34.0%
三 重	34	22	+ 12	+ 54.5%

(2) 県下の交通事故発生状況

区 分	人 身 件 数	死 者 数	負 傷 者 数	
			重 傷 者 数	
令 和 8 年	1,333	17	1,613	196
令 和 7 年	1,408	24	1,735	191
増 減 数	- 75	- 7	- 122	+ 5
増 減 率	- 5.3%	- 29.2%	- 7.0%	+ 2.6%

(3) 月別死者数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令 和 8 年	5	0	3	2	6	1	—	—	—	—	—	—
令 和 7 年	4	1	7	3	3	6	5	8	3	3	6	6
増 減 数	+ 1	- 1	- 4	- 1	+ 3	- 5	—	—	—	—	—	—

(4) ブロック別死者数

区 分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛驒	高速隊
令 和 8 年	4	5	5	3	0	0
令 和 7 年	8	4	3	7	2	0
増 減 数	- 4	+ 1	+ 2	- 4	- 2	0

(5) 年齢層別死者数

区 分	こども	高校生	若年者	25～59歳	60～64歳	高齢者
令 和 8 年	0	0	2	4	0	11
令 和 7 年	0	1	1	3	0	19
増 減 数	0	- 1	+ 1	+ 1	0	- 8

2 死亡事故(17件、17人)の特徴

今年の死亡事故は17件17人発生し、前年同期より7件7人減少している。
岐阜県の全国順位(ワースト)は、死者数26位、増減数39位、増減率39位。
また、人口10万人当たりの死者数は0.89人、ワースト35位。(全国平均:0.94人)

(1) 高齢者の死者が6割強

高齢者の死者が11人で、前年同期より8人減少し、全死者(17人)の64.7%を占め、このうち歩行者4人、自動車乗車中の死者が3人(運転者2人・同乗者1人)、自転車2人、自動二輪2人であった。

(2) 高齢運転者による事故が約4割

高齢運転者による事故が6件で、前年同期より3件減少し、全運転者事故(16件)の37.5%を占め、このうち65～74歳が3件、75歳以上による事故が3件であった。

(3) 歩行者・自転車の死者があわせて5割強

歩行者(6人)・自転車(3人)の死者があわせて9人で、前年同期より3人減少し、全死者の52.9%を占め、このうち高齢者の死者が6人(歩行者4人・自転車2人)で、高齢歩行者のうち2人は横断歩道横断中であった。

(4) 交差点での事故が約4割

交差点での事故が6件で、前年同期より2件減少し、全事故(17件)の35.3%を占め、いずれも信号機のない交差点での事故であり、このうち対歩行者事故が3件、出会い頭事故が3件であった。

《 その他 》

○ 夜間の事故が8件で全事故の47.1% [前年:10件・全事故(24件)の41.7%]

○ 若年運転者事故が2件/全運転者事故16件 [前年:2件・全運転者事故(22件)の9.1%]

○ 飲酒関係事故が1件/全運転者事故16件 [前年:2件・全運転者事故(22件)の9.1%]

注:若年は24歳以下、高齢は65歳以上をいう。
夜間は日没から日の出までをいう。
運転者事故は原付以上運転者が第1当事者(主たる原因)となった事故をいう。
飲酒関係事故は原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は0人で、前年同期より2人減少している。

※ 6月末で死亡を確認したもの

【過去10年間の死者数推移】

年 別	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
6 月 末	48	37	44	40	22	29	32	19	28	24	17
年 間	90	75	91	84	43	61	75	50	70	55	...